

○三陸中部森林管理署の「採材検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。令和6年9月6日（金）に岩手県気仙郡住田町の火ノ土山国有林で開催された「令和6年度 採材検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は曇り空のなか、林業関係団体や県・市町村担当者、署管内の林業事業者など60名を超える参加を得て開催されました。三陸中部森林管理署長の挨拶後、署の担当者より現地の概要についての説明、昨年度の販売状況、針葉樹・広葉樹の採材の方法や留意事項等について説明があり、青森事務所から東北森林管理局管内の需要動向についての説明とともに、スギ等針葉樹の4m採材の推進、請負事業実行時の留意事項について説明しました。続いて、岩手県森林組合連合会の担当者から県内の市況動向や、広葉樹等の取り扱いについての説明があり、実際の採材の検討に移りました。

会場に準備した広葉樹4本の試供木を対象に4班に分かれ採材の検討を行いました。各班による試供木の検討後、各試供木について各班から採材案の説明があり、それに対して岩手県森林組合連合会より採材の解説や留意事項などの情報提供がありました。様々な広葉樹について実際の試供木を前に、採材方法の検討・指導を受けることにより、広葉樹の欠点の見方など一般材採材への理解を深めることができました。

採材の検討後、労働災害防止の観点から、チェーンソー伐倒の実演も行われ、伐木技術指導員から伐倒時の注意点など労働安全に関する説明を受けました。青森事務所からも最後に採材検討の講評と労働安全等についてお話させていただき採材検討会を終了しました。

青森事務所では今後も採材検討会や労働災害防止協議会へ積極的に参加し、国有林材の有効な利用と労働安全に貢献して参りたいと考えています。



（広葉樹の採材検討）



（広葉樹の採材解説）